

USPTO は 9 月 29 日、特許局の組織再編について公表した<sup>1</sup>。5 名の副局長の担当範囲が変更され、各副局長がそれぞれ 1 つの審査部署(Technology Centers 又は Central Reexamination Unit)を担当することになる。

これまでは 1 名の副局長が全審査部署を担当していた。しかし、組織の拡大に伴って同副局長の下では 9,000 名以上の職員が働くようになっていた。他の副局長が担当している非審査部署との連携にも課題があった。

そこで今回、組織再編によって、1) チームワークの改善と多様な視点の共有を促進し、2) 管理職間のトレーニングを促進し、3) さらなる発展の機会を提供し、4) 副局長に属する職員数のバランスを改善するとしている。

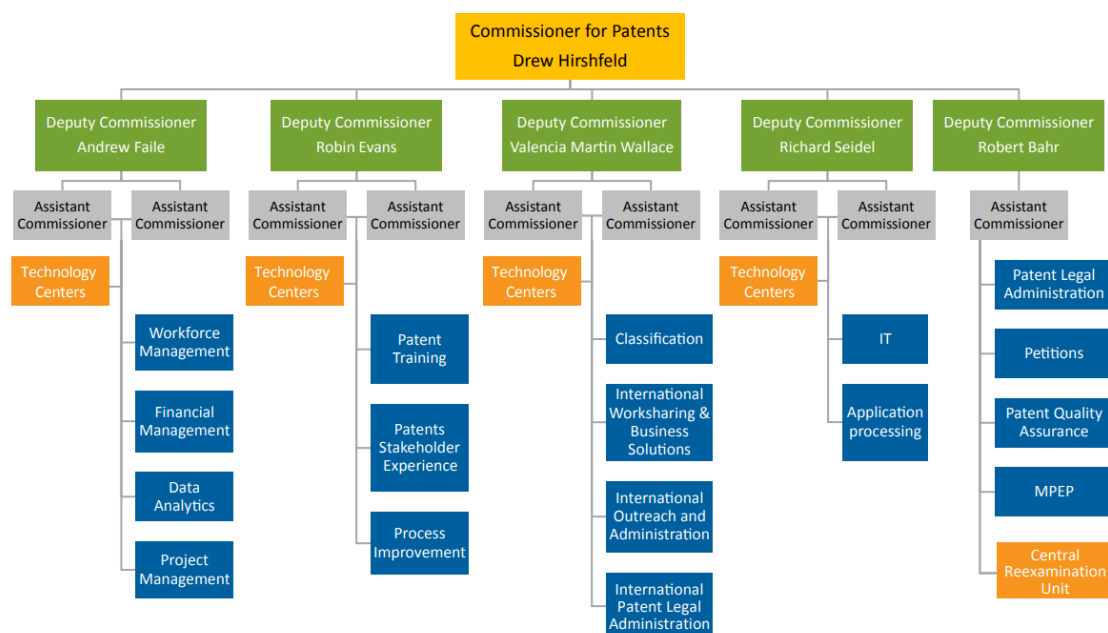
なお、多様性の観点は、最近の USPTO (Iancu 長官) の関心事になっており、組織再編や副局長の選任、女性発明家の参加促進など、様々な場面で言及されている。

(その他の変更点)

- Technology Centers を 5 群から 4 群に変更。
- Central Reexamination Unit を組織図上に明示。
- Office of Data Analytics を 3 室から 1 室に変更。
- Office of Patents Stakeholder Engagement 2 室を Office of Patents Stakeholder Experience 1 室に変更。
- Office of Project Management を新設。

(再編後の組織図)

### Patents: After the reorganization



<sup>1</sup> <https://www.uspto.gov/blog/director/entry/fall-2020-brings-exciting-changes>

(再編前の組織図)

## Patents: Before the reorganization



\*selected in anticipation of the reorganization

(以上)